

高校出張講義実施概要

氏 名	白川 龍生
学科 コース（主担当）	地球環境工学科 環境防災工学コース
職名	准教授
授 業 題 目	雪のお遍路さん ―北海道の積雪分布を追いかけて―
授 業 内 容	北国では冬になると雪が降り、それが積もると積雪になります。実は同じように見える積雪も、積もってからの時間や温度、水の影響などによって、粒子の大きさや形状が変化しています。 私たちの研究室では、1シーズンあたり80回を超える積雪観測を実施していますが、今回は北海道の道央から道東地域にかけて毎年2月下旬に実施している広域積雪調査を紹介します。毎年、同じ時期に同じ場所に通って雪を調査していると、その場所の気象特性や地域特性が見えてきます。この出張講義では、そんな「雪のお遍路さん」を通じて見えてきた雪氷防災の要点を話します。
簡単な実験を行う場合はその内容	講義では、簡単な実験・観察を行います。 (1) 雲のできる仕組みをペットボトルを使った実験で説明します。 (2) ドライアイスを作成し、人工雪結晶生成実験を行います。 (3) 冬季の積雪期の場合（ただし1月末まで）は、高校のグラウンドなどで簡単な観察会を実施可能です。 ※(1)(2)は最大40名程度まで、(3)は最大10名まで対応出来ます。
授業に使用する機材（高校が用意するもの等）	プロジェクターを準備願います。PCは持参します。冬季、観察会を実施する場合は、防寒に適した服装（ジャンパーや冬靴など）を各自準備願います。
備 考	前期：授業期間中は、月～木は×。金は○。 後期：授業期間中は、月・火は×、水～金は○。 2月以降は観測の繁忙期のため、×。

※実施時期は、概ね7月から11月の期間とします。